

# 委員会活動計画書

委員長名 大木 幸子

<b>【委員会名】</b> 教育課程委員会	
<b>【メンバー】</b> ◎大木 幸子 (杏林大学)、桑原 ゆみ (札幌医科大学)、鈴木 美和 (淑徳大学) *下山田 鮎美 (東北福祉大学)、*滝澤 寛子 (京都学園大学)、*平野 美千代 (北海道大学) *¥藤井 広美 (杏林大学) オブザーバー (担当副会長) : 荒木田 美香子 (国際医療福祉大学) <p style="text-align: right;">◎委員長、*役員以外の委員、¥会計担当、( ) 所属名、50 音順</p>	
<b>【活動方針】</b> ・卒業時到達度を保証する「全保教版 MR (2014)」及び「保健師教育評価の指標 全保教版 (2016)」の普及を図る。 ・公衆衛生看護学実習の実践例について情報交換を行う。 ・公衆衛生看護学の技術の体系化と教育方法について検討する	
<b>平成 29 年度</b>	
<b>達成目標</b>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 公衆衛生看護学の技術の体系化と教育方法について検討する。</li><li>2. 公衆衛生看護学実習の実践例について会員校間での情報交換を行う。</li><li>3. 「全保教版 MR (2014)」及び「保健師教育評価の指標 全保教版 (2016)」を普及する。</li></ol>
<b>活動計画</b>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 委員会開催<ol style="list-style-type: none"><li>① 公衆衛生看護学の技術の体系化と教育方法について検討する。</li><li>② 上記①の検討にあたって、「全保教版 MR(2014)」及び「保健師教育評価の指標 全保教版(2016)」の活用方法および5単位実習での展開方法について検討する。</li><li>③ 上記①, ②についての会員校の情報交換・意見交換を行うために、夏季・秋季研修を企画する。</li></ol></li><li>2. 公衆衛生看護学の技術の体系化と教育方法について検討する。<ol style="list-style-type: none"><li>① 特定の領域 (例: 母子保健活動) における公衆衛生看護学の技術の抽出及び体系化を行う。</li><li>② 上記の技術に関する基礎教育における教育方法について検討する。</li><li>③ 本課題について会員校間の意見交換を行う。</li></ol></li><li>3. 公衆衛生看護学 5 単位実習の実践について情報交換を行う。<ol style="list-style-type: none"><li>① 下記の2点について、研修委員会と協議・調整を行い、研修会での情報交換・意見交換を行う。</li><li>② 5 単位実習の実践に関する情報交換を行う。</li><li>③ 特に上記「2. 公衆衛生看護学の技術の体系化と教育方法の検討」で取り上げる技術の習得にあたって実習での工夫点や課題について意見交換を行う。</li></ol></li><li>4. 「全保教版 MR (2014)」及び「保健師教育評価の指標 全保教版 (2016)」を普及する。<ol style="list-style-type: none"><li>① 下記2点について研修委員会と協議・調整を行い、研修会での情報交換・意見交換を行う。</li><li>② 「全保教版 MR(2014)」及び「保健師教育評価の指標全保教版(2016)」6 を活用した教育評価について情報交換を行う。</li><li>③ 特に上記「2. 公衆衛生看護学の技術の体系化と教育方法の検討」で取り上げる公衆衛生看護学の技術にいて着目し、「全保教版 MR(2014)」を踏まえた教育の組み立てについて意見交換を行う。</li></ol></li></ol>